

幽霊解放区



文藝春秋

幽霊解放区

赤川次郎

大好評 幽霊シリーズ第27弾

『死者からの予約』は
ホンモノなのか？

2019年1月11日発売

定価：900円＋税

体裁：並製カバー装 総頁：288頁

宇野と夕子が旅先のレストランで食事をしていると、予約電話が入った。
その客は、かつて少女殺害容疑で逮捕され、取調中に“死んだはずの男”。
不穏な空気が漂う街で名コンビが大活躍！

【本書の内容】

宇野と夕子が旅先のレストランで食事をしていると、“死んだはずの男”から「予約」の電話が入った。

この男は、かつて地元商店街会長の16歳の娘が遺体で発見された際に、店の主人の証言によって、殺人容疑で逮捕され、現場検証の直後に、トラックにはねられ、即死していた。後日、この家族が暮らしていた家も、謎の火事で全焼してしまった。

果たして、「死者からの予約」はホンモノなのか。

「被害少女は誰に殺されたのか」

不穏な雰囲気漂う街の謎に宇野と夕子が迫る。

表題作のほか、「ふさがれた窓」「忘れな草を私に」「悪夢の来た道」「悪魔の美しさ」「行列に消えて」「手から手へ、今」の計七篇を収録。

人気シリーズの第二十七弾。

著者紹介

赤川次郎（あかがわ・じろう）

1948年2月29日、福岡生まれ。桐朋高等学校卒業。51年、「幽霊列車」で第15回オール讀物推理小説新人賞を受賞し、デビュー。

以来ベストセラー作家として活躍。

著作は600冊以上に及ぶ。

2006年、第9回日本ミステリー文学大賞、16年には、『東京零年』で第50回吉川英治文学賞を受賞した。

書評、取材のお問い合わせはこちら。

お問合せ先： 文藝春秋 プロモーション部

TEL：03-3288-6142

E-mail：pr@bunshun.co.jp